

(公財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は10月11日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 研究助成の公募始まる

公益財団法人としての当協会の事業の種類は、

(1) 研究助成事業、(2) セミナー事業、(3) 情報収集・提供事業、(4) 普及推進事業、(5) その他当協会の目的を達成するために必要な事業の5つですが、その中核となる「研究助成事業」の公募パンフレット・申請書が出来上がり、この程、11月1日(火) 郵送とホームページ等によって広く研究調査案件の募集が開始されました。

ご案内のあらまは、①募集テーマ：「公衆衛生の向上及び高齢者福祉に関する研究調査」、②助成金額：1研究につき上限100万円(対象5件以内)、③応募受付期間：令和4年11月1日～令和5年1月31日必着、④研究期間：令和5年5月1日～令和6年4月30日、⑤選考方法：(内部委員4名、外部委員6名で構成する選考委員会により25項目の審査項目の合計点で選考)、⑥選考結果の発表：令和5年中旬郵送およびホームページで発表。

詳細は、当協会ホームページからパンフレットおよび申請書をダウンロードしてご覧ください。<https://jahi.jp/josei/index.html>

なお、事務局には既に1機関からの複数申請の可否、当協会所属部会・研究会からの応募の可否等のご質問が寄せられておりますが、前者・後者とも可能とご回答しております。

2. 野菜・お米・土壌の3部会が当協会の公益化を記念して共同フォーラムを開催

野菜で健康推進部会から派生したお米で健康推進部会(2021年10月発足)、土壌で健康推進部会(2022年9月発足)の3部会は、本年11月24日(木)13:00～16:30、ウェビナーと会場参加(日比谷図書館大ホール)により「人と地球の健康を考える～プラネタリーヘルスケア・フォーラム」を開催いたします。

このフォーラムは、人々と地球の健康(プラネタリーヘルス)は密接に結び付いており、食や土壌のあり方から「健康」の基盤を構築していくことの大切さを提言するものです。

第1部は「食と農から考える、人と地球の健康」をテーマに、野菜部会・丹羽、お米部会・柏原、土壌部会・上杉の3部会長がそれぞれの立場から論じます。第2部は「土壌とヘルスケア～微生物がつなぐ食と農の未来」と題して、理化学研究所バイオリソース研究センターの市橋泰範先生の基調講演の後、市橋先生を含めて、森林研究・整備機構森林総合研究所の藤井一至先生、産業技術総合研究所の菅野学先生によるパネルディスカッションが展開されます。モデレーターは土壌部会事務局の中嶋浩平次長が務めます。

ここまで、シンポジウムに関しては、ウェビナー・会場参加は共に参加無料です。

第3部は会場を移して、交流・懇親会(名刺交換会)を会費制により開催します。

3. 当協会は農水省が業界と立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」に参加しました

JAHIは、農林水産省が本年6月に一般社団法人Jミルクとともに、立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」に参加(10月)しました。このプロジェクトは、わが国で酪農が果たす食料供給のみならず農村地域の維持・活性化への貢献、資源循環への役割等に鑑み、様々な企業・団体・自治体等、官民から幅広い参加者が、共通ロゴマークにより一体感を持って、更なる牛乳乳製品の消費拡大に取り組もうとするものです。